

JR東日本建築設計と構造計画研究所の共同開発

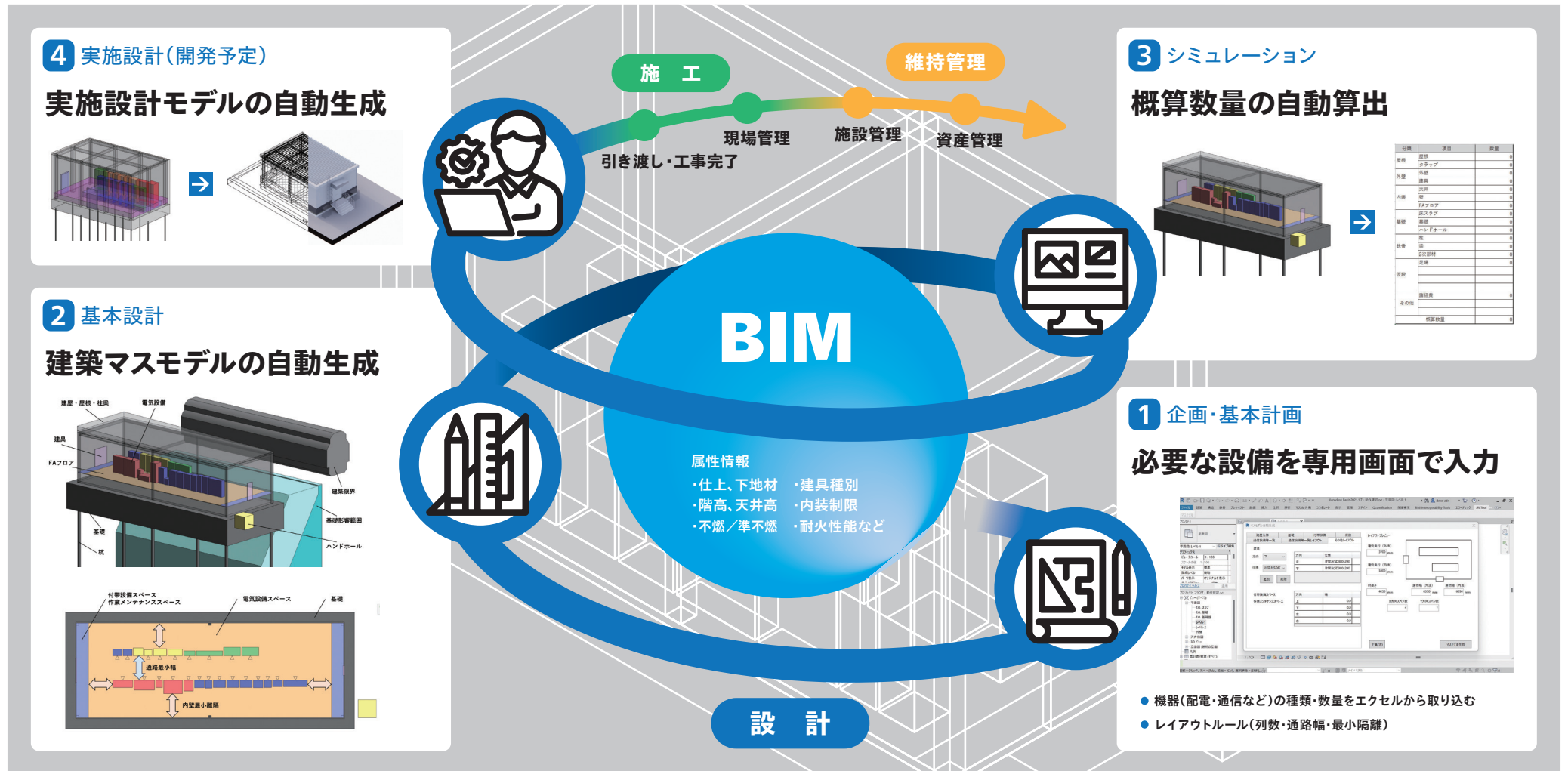
BIM

設備機器レイアウト

ボリューム検討

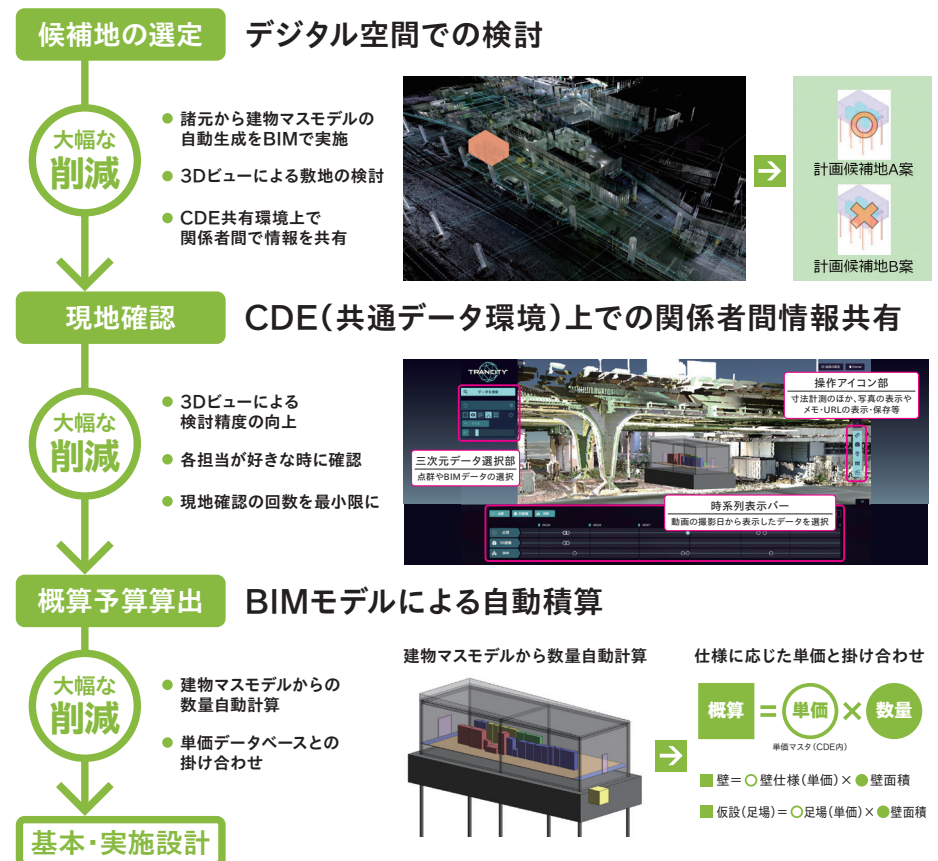
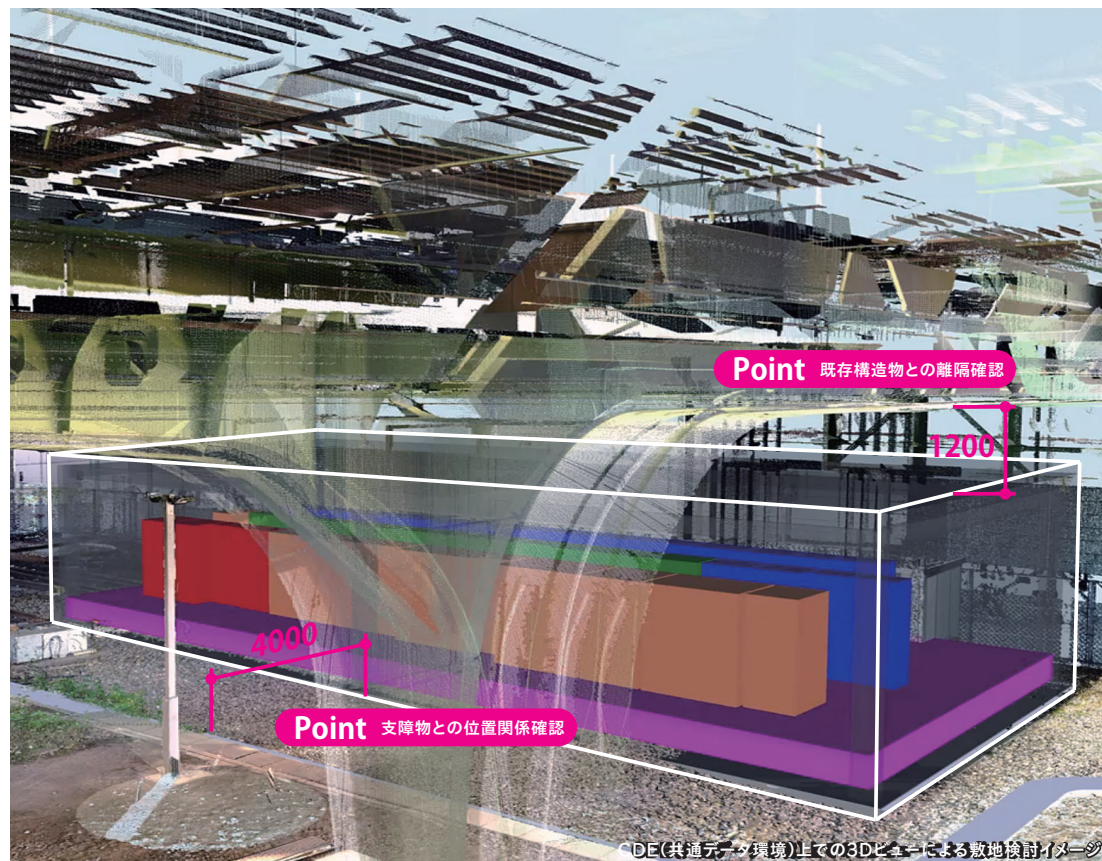
ソリューションの特徴

電気設備建物の必要ボリュームをスピーディーかつ高い精度で自動生成



活用方法とメリット

「発注者(JR東日本)社内の合意形成の円滑化」「現地立合い確認の労力減」「概算予算算出の労力減」を目指した新しい業務フローの提案



ツール活用の6つのメリット

- 1 計画精度の向上
- 2 現地調査の回数削減
- 3 情報共有 資料作成の手間軽減
- 4 確認事項の事前整理による効率化
- 5 関係者調整にかかる待ち時間削減
- 6 概算(数量)精度の向上・業務削減